



関学ジャーナル

2006年12月12日
アメフト部
甲子園ボウル特別号
(本誌記事の掲載権を認す)

発行/関西学院大学 住所/〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

甲子園をKGブルー一色に

学生王座へ 法政大と頂上決戦

12月17日(日)

さあ、相手は決まった。法政大とマホークス。毎日甲子園ボウルに4年連続出場する東の強豪だ。5年ぶりの学生日本一をかけて関西学院大学アメリカンフットボール部ファイターズが対戦する。12月17日(日)、阪神甲子園球場で13時キックオフ。法政大は関東大学選手権決勝でも慶應大に49-13

甲子園ボウル

で圧勝した。しかしファイターズの甲子園ボウル出場は41回と最多。現役生や教職員、卒業生ほかKGファミリーが集結し声援を送る伝統もある。甲子園をKGブルーに染め、ファイターズを学生日本一へ、そして社会人日本一と対戦する「ライスボウル」(1月3日、東京ドーム)へと後押ししよう。



実った体力強化 組織力も健在「ファイターズ」

昨年、チーム史上初めて4年連続で甲子園ボウルを逃したファイターズ。4年連続で関西を制した立命館大学の壁を破るには、体力面の強化が必須だと再認識した。アメフトは攻守ともに組織プレーの戦いだが、それは11カ所の「1対1の戦い」が集まったもの。「1対1」に強くなりたいと、アスリート集団の立命には勝てない(鳥内監督)という判断だった。

チケット発売中

指定席が前売り2,200円、当日2,500円。自由席が前売り1,500円、当日1,800円(高校生以下無料)。指定席前売り券の関学協会の販売は12月12日終了予定だが、その後もCNブレイクガイド、ローソンチケット、チケットぴあ、イープラス等で購入可能。



鳥内秀晃監督

声援が選手の力になる

法政は強い。今のままで勝てない。選手全員がレベルを上げなアカ。つたそれで負けることだ。日本一を目指すには苦しみは当たり前。なめてかかるとは。練習も試合と同じドキドキ感を持ってせ

一を目指すチームがこれだ。今春からプロのトレーナーによる徹底指導を週4回受け、数値目標をクリアできなかった選手は練習参加を認めない基準を設けた。選手、コーチともに戦術や技術を優先しがちだったこれまでの意識を一掃し、フィジカルと「三位一体」だと明確に打ち出された。小野、攻撃コーディネーター。

この意識改革は、賭けでもあった。春のシメスは法政大に3-45、日大に6-28で完敗。勝ちたが大味な試合も多く、新聞紙上でも「試合巧者らしくない」と評された。秋のリーグ戦、10月1日などは他校の予想を超える強力なDLを作り上げた京大と対戦。試合では、フィジカル面を越える強



LBを務める柏木佑介主将

チーム一丸、全力プレー

立命を倒したときは「甲子園ボウルに行けるんだ」という実感は正直ありませんでした。ただ、4年間負けたらファイターズはこらえて来ない。立命の分も、関西代表の意地をかけて甲子園ボウルは一本と決めて全力でぶつかります。春、法政に大敗を喫したときは、準備不足ともいわれましたが、実際戦ってからは、準備不足ともいわれませんでした。特に関学生のみならず、ファイターズが同じ学生相手1年に2回も負けるわけにはいかないんです。



柏木佑介主将 (商4)

け続けた立命に勝つたという結果が何よりもうれしかった。ライバル立命がいなかったらファイターズはこらえて来ない。立命の分も、関西代表の意地をかけて甲子園ボウルは一本と決めて全力でぶつかります。春、法政に大敗を喫したときは、準備不足ともいわれましたが、実際戦ってからは、準備不足ともいわれませんでした。特に関学生のみならず、ファイターズが同じ学生相手1年に2回も負けるわけにはいかないんです。

中学部も甲子園へ

招待試合で勝利を先導



関西学院中学部フットボール部ジュニアファイターズが、甲子園ボウルの前哨戦で中学校ナバールンを決める招待試合への出場を決めた。対戦相手は長浜市立南中(滋賀県)。試合会場は甲子園球場で10時キックオフ。今度は、中学生がファイターズに元気を与えたい。

法政大との決戦を控えたファイターズに勝利を呼び込む追い風となる。顧問でファイターズOBの西村啓展教授は「同じ第3フィールドで大学生に負けない練習をしてきた。伸び伸びと思いついてプレーしてほしい」と意気込む。予選の決勝ではスタンドから大きな力をもらった。今度は、中学生がファイターズに元気を与えたい。

